

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年2月 27日

事業所名 まかろんキッズ舞松原教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		空間を利用目的ごとで分けている	必要に応じ仕切りなどを活用しながら対応しています。
	2	職員の配置数は適切である	5		職員の配置人数に応じて、役割分担を実施しています。	指定人員基準以上のスタッフ数を配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		5	実施していない。	バリアフリーの必要性の高い利用者様が在籍していない為、大きな改修はないが、目印など簡単なものは実施しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5		実施している。	日々のミーティングにて振り返りと改善を実施しています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		実施している。	定期面談にて意向の確認しながら業務改善を実施しています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している		5	実施していない。	今回初回の自己評価となる為、今回から公開します。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		5	実施していない。	必要に応じて行い、今後は実施していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		月1回以上、社内外研修を実施している。	今後も継続して実施していくとともに、研修内容の質の向上を図っていきます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5		PDCAサイクルに則り、職員会議を実施している。	利用者様のニーズの聞き取りや日々の支援の中でのアセスメントを踏まえて職員間で協議し、必要な支援について提案させて頂いています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5		特性に合わせてアセスメントツールを使用している	特性に応じたアセスメントを行い、個別支援計画書の作成や更新に生かしています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		ガイドラインに則り、専門的なプログラムを立案している。	月のカリキュラムの作成や1日の流れの確認など、日々チームで実施しています。今後も継続していきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		曜日の内容が集中しないようにプログラムを組んでいる。	季節や発達年齢に応じたカリキュラムを固定化しないよう職員間で話し合い決定しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5		状況に応じて、課題を修正しながら支援している。	長期課題の実施など、見通しを立てて実施できるようそれぞれの課題を提案しています。また、必要に応じて社会資源を活用した活動プログラムも実施しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5		個別と集団の組み合わせを行い、必要な支援が行えるよう計画を作成している。	日々の支援において個別の時間や集団の時間など児童様に応じて必要な部分が異なるため、専門職員のさらなる充実を図り、より多くのニーズに応えられるよう尽力します。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		朝礼、支援開始前に二重確認と打ち合わせを実施している。	全体の支援の把握とより細かい支援の把握など、それぞれが役割をもって利用者様の支援に携われるようにミーティングの回数を多くとっています。今後も継続して実施していきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		終礼時の振り返りや、LINEなどを活用した情報共有、振り返りを行っている。	支援の振り返りや情報共有を終礼とLINEにて行い、支援計画や担当者会議での提案などに活用しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		支援計画に基づいているかのチェックを実施している。	同一職員の記録とならないように役割を分担して記録するようにしています。また、記録内容を踏まえた症例検討などを実施し、サービスの向上を図っています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している			定期的にモニタリングを行い、適時、個別支援計画書の改善を実施している。	支援開始前と、半年とモニタリングを行っています。また、必要に応じて、モニタリングを実施し、その内容に即して個別支援計画書の見直しを行っています。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5		月のカリキュラムに複数組み合わせ合わせて支援している。	ガイドラインに則り、支援計画の内容を踏まえた支援を実施しています。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20		5	管理者および児童発達支援管理責任者が参加する体制をとっている。	管理者及び児童発達支援管理責任者が参加するとともに必要に応じて、専門職員が参加する体制をとっています。
	21		5	学校の担任や管理職との連絡調整や情報共有をとっている。	学校の担任や教頭職等の管理職との連絡調整を行いなら、必要に応じて電話での聞き取りや担当者会議での情報共有を図っています。継続して情報共有や連絡を実施していきます。
	22		5	当該児童がいない。	医療的ケア児童の受け入れは行っていません。必要に応じて協力医療機関や主治医と連絡を取っていきます。
	23		5	連絡をとれる体制づくりに努めている。	保護者を通して情報共有を行う事で相互理解に努めています。
	24		5	当該児童がいない。	当該児童がいません。
	25		5	連絡をとれる体制づくりに努めている。	研修会への参加や外部機関の介入など、助言をもらえる体制を作っています。
	26		5	必要に応じて実施している。	外出レクなどにて交流する機会を作っていますが、個人情報の観点から積極的な交流は控えています。
	27		5	参加できる体制づくりに努めています。	必要に応じて参加を検討していきます。
	28		5	担当者会議や送迎を通じて、必要な課題などを連絡しあうようにしています。	送迎時に伝えきれない部分に関しては、別途電話連絡、LINEなどツールを利用して常に情報の共有と共通理解が図れるようにこころがけています。
29		5	担当者会議や送迎を通じて、実施している。	児童様との関わり方や声掛けのポイントなどは長期休暇時など時間のある際に、動画を通じての説明や直接的説明を実施している。また、SNSを通じて必要な情報を発信しています。	
保護者への説明責任等	30		5	利用者様の理解が得られるよう丁寧な実施を心がけている。	ご契約時に重要事項説明書を用いて説明するようにしています。補足部分やわかり辛い部分については再度の説明など実施しています。
	31		5	担当者会議や送迎を通じて、実施している。	児童様との関わり方や声掛けのポイントなどは長期休暇時など時間のある際に、動画を通じての説明や直接的説明を実施しています。
	32		5	社内イベントとして実施し、保護者同士の連携に繋がるよう努めている	今後も定期的の実施していくとともに、イベント内容の質の向上を図り、保護者同士が互いに連携出来るような仕組み作りを検討していきます。
	33		5	苦情があった場合の報告・連絡・相談ができる体制を作っている。	苦情解決担当窓口と苦情解決責任者を設置しており、迅速かつ丁寧な対応を心がけていきます。苦情の解決に関しては、全職員で協議し丁寧な説明を行い理解を得られるようにしていきます。
	34		5	SNSを利用して子育てのヒントとなるポイントを発信している。	今後も継続して発行し情報提供をしていきます。
	35		5	日々のミーティングで確認している。	ガイドラインの確認を定期的に行うとともに、日々のミーティングで個人情報保護についての確認を行うようにしています。
	36		5	視覚支援など個人に合わせた意思疎通方法を工夫している。	児童様の特性に応じて、意思疎通が行いやすいツールの利用を心がけている。必要に応じて、マカトンサインなど専門的手法なども検討していきます。
	37		5	実施していない。	個人情報の観点から、積極的な招致は控えています。開かれた事業運営となるよう定期的な社内イベントを実施していきます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5		マニュアルに加えて、緊急時に対応したフローチャートを作成している。	マニュアルを作成し、事業所内に保管しています。必要に応じて開示、改善していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		事前計画を作成後、職員間で共有し、訓練を実施している。	半年に一回以上の避難訓練を実施しています。また、防災センターなど体験学習も実施しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		外部講師を招き、定期的な研修とミーティングを実施している。	入職時から定期的な研修と振り返りを行うとともに、日々のミーティングの中にも虐待に関する話し合いを実施しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5		利用者様に身体拘束の三原則に則り実施する可能性があることを事前に説明させて頂いている。	身体拘束の3原則に則り実施する可能性はありますが、普段のミーティングや支援の振り返りを通じて、身体拘束の必要のない方法について話し合い、改善と共有を図っています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		5	対象児童がいない	対象児童がいないため、実施していない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		共有している。	ヒヤリハット記録は保管し日々のミーティングや各種委員会や月ごとのミーティングで話し合いを設けています。